

NURUCON[®] M

ヌルコンモルタル 薄塗り専用

業務施工マニュアル (Ver. 1.01)

※最新の業務マニュアルはWEBにて要確認

こちらのマニュアルは「業務用 NURUCON M」を使用して業務施工を行う場合の「業務施工マニュアル」になります。マニュアルは随時更新されます。
パンフレット・ラベル記載と差異がある場合は、このマニュアルに記載された事項が優先されます。

タイハクマテリアルズ株式会社

宮城県黒川郡大和町鶴巣太平字真山 8
TEL 022-343-3766 FAX 022-343-6375
<https://taihaku-materials.co.jp/>
<https://nurucon.jp/>
<https://nurucon.com/>

NURUCON お問い合わせメール
info@nurucon.jp

1. はじめに

1.1 商品の目的

ローラー施工用 NURUCON はコンクリートの美観向上を目的に開発された商品ですが、コンクリート以外にもNURUCONを塗りたい、というご要望に応える為に新開発された商品が「NURUCON モルタル」になります。

一般的にコンクリートではない製品をコンクリート風に仕上げるには、モルタルを作って塗るのが一般的ですが、モルタルはセメントを含んでいる為に 60 分程度で作業を終わらせる必要があります。また、モルタルは薄塗りが難しく、付着力も弱い為、塗り付けるという行為自体が非常に難しいのも特徴です。

NURUCONモルタルはその問題点を解消し、左官コテ塗り作業が初めての方でも簡単に塗れるように開発されております。

「容器を開けたら、よくかき混ぜて、薄く塗るだけ。」

生コンクリート(モルタル)用の細骨材(砂)を製造しているメーカーが開発した 1 材型プレミックスモルタル。それが NURUCON モルタルです。

NURUCON は今後も進化し続けます。情報は随時アップデートされますので、定期的に nurucon.jp の確認をお願いいたします。

1.2 商品のお問い合わせ・販売・運搬・取り扱いに関して

商品の取扱い及び技術的な問い合わせはメールにてご連絡ください (info@nurucon.jp)

NURUCON M は、化粧剤の為「空輸」出来ませんのでご注意ください。

NURUCON M は、屋外に保管しないでください。凍らせると使用できなくなります。

NURUCON M は、運搬時の振動により上部に水分が分離している場合があります。

NURUCON M は、ご使用前に良くかき混ぜてください。

NURUCON M は、天然の砂を主原料としております。粘性は調整されて出荷されておりますが、場合により粘性が変動する場合があります。粘性が高い場合は水を適量添加してよくかき混ぜてください。粘性が低い場合は、蓋を1～3時間程度開けて水分を蒸発させてからご使用ください。

※ NURUCON M は良く混ぜてからご使用ください。下部に砂のダマが沈殿物している場合があります。

※ 天然由来の原料を使用している為、つぶが大きい砂が混ざっている場合があります。

2. 注意事項

2.1 使用目的の限定

NURUCON Mは、**美観のみに着目した、モルタル風化粧仕上げ用の**商品です。本商品は薄く塗る事により、コンクリート(モルタル)製ではない下地を**モルタル風**に変える事が可能になります。複数の塗り材をご使用になる場合は、化粧仕上げ材としてご使用ください。**本商品は屋内施工を想定して作られています。**本来のモルタルが持つ能力(圧縮強度・充填能力・下地保護能力等)を期待して使用はできません。また、水分蒸発により硬化する化粧仕上げ用モルタルの為、以下の目的では使用できませんのでご注意ください。

- ・既存コンクリート(モルタル)の補修、補強用として
- ・接着剤として(例:レンガやタイルの接着等)
- ・間詰めモルタルとして。厚塗り不可・薄塗り(数 mm)専用。
- ・レベリング材、グラウト材として 等

2.2 施工マニュアル及び SDS

最新の施工マニュアル及び SDS は弊社営業もしくは弊社 WEB サイトよりご請求ください。



2.3 使用上の注意事項

※ 取扱い時は保護メガネ(ゴーグル)を必ず着用する事 ※

※ 施工箇所を切断・研磨する場合は保護マスクを着用する事 ※

NURUCON Mは本物のモルタルや漆喰と同じアルカリ性になりますので、取り扱うときは必ず保護具を着用し、何らかの身体的異常が現れた場合はすぐに専門医の診察を受けてください。NURUCON Mの主原料は弊社敷地内から採取される天然砂です。一般的に砂とは二酸化ケイ素を主成分とする 0.05mm～2mm 程度の大きさのものを指し、身の回りの「畑」、「海岸」、「花壇」、「砂場」に大量に存在しております。しかし、砂の「粉じん」は業務作業レベルで継続的に吸い込むと健康に対する有害性がありますので、NURUCON Mを施工した箇所を切断・研磨する場合は、必ず保護具を着用してください。詳細は SDS をご確認ください。

2.4 使用箇所の限定

NURUCON Mは屋内用商品です。**塗り材に力がかかり続ける箇所、常時水がかかる箇所、繰り返し摩擦がかかる箇所、剥落の危険性がある箇所、凍結融解を繰り返す箇所 等にNURUCON Mは使用できません。**主要構造物、重要構造物に使用する場合は、必ず建築士等の現場責任者(管理者)に確認を取ってください。**施工中及び乾燥期間中(48 時間以上)は換気を必ず実施してください。**空気が滞留しやすい箇所の場合は、強制換気を行ってください。

2.4 廃棄方法

※ 下水や河川等に流さないでください。正しく処理をお願いいたします ※

産業廃棄物として処理を行ってください。産廃用カゴに廃棄する時は、乾燥させてから入れてください。乾燥させずにカゴに入れると、降雨時に流れ出してしまい周辺を汚す可能性があります。道具は濡らしたウェスや新聞紙等でふき取ってください。

3. 性能

業務用 NURUCON Mは付着強度を外部試験所にて行い、性能確認を行っております。

3.1 性能例 2024年9月現在

試験結果は自社品質確認の値であり保証値ではありません

| 試験項目 | 合否 | メーカー管理基準 | 準拠する試験規格 |
|------------|----|--------------------------|-----------------|
| 付着強さ（標準状態） | 合格 | 1.5 N/mm ² 以上 | JIS A 6909 7.10 |

※ 条件:NURUCON モルタル業務用14kgを0.8kg/m²施工後2週間養生。上記試験規格に準拠しJNLA試験所にて実施。

その他の性能

試験結果は自社品質確認の値であり保証値ではありません

| 試験項目 | 性能 |
|--------|---------------------------------------|
| 抗菌性 | 大腸菌・黄色ぶどう球菌に対する 抗菌性能(抗菌活性値 3.0 以上) |
| 消臭性 | 酢酸ガス:2時間で96%減少 アンモニアガス:2時間で49%減少 |
| VOC 吸収 | ホルムアルデヒドガス:24時間で94%減少 |
| 吸放湿性 | 47g/m ² |
| 遮音性能 | 音響透過損失平均約20dB(基材:布) |

| | |
|--------------|---|
| 防火材料試験(不燃材) | 現在、申請中。 登録番号が記載されたラベルが貼付された商品のみが対象商品になります。詳細はお問い合わせください。 |
| ホルムアルデヒド放散等級 | F☆☆☆☆ 登録番号:T40002 (一財)日本塗料工業会登録 |

注意事項

・対応商品は「登録番号が記載されたラベルが貼られた商品」になります。詳細はお問い合わせください。

3.2 第三者試験所による試験

NURUCON M を施工前に施工者自ら試験所に試験依頼を行い、NURUCON M の性能がメーカー管理基準値を満たしているか、または、その他の試験規格を満たしているかを確認する場合は、以下を参考にしてください。

・試験条件

上記性能例は**業務用 NURUCON M を 0.8kg/m³量塗布したもの**になります。塗布後最低 2 週間は養生される条件で試験を行ってください。

・試験依頼の注意事項

試験用の供試体(試験片)の作製を試験所に依頼する場合、未開封の NURUCON を 1 缶要求されます。**材料としての保証は、未開封の状態で JNLA 登録試験所が JISA6909 に準拠して試験を行った場合のみになります。**必ずこのマニュアルと NURUCON M の両方を試験所に提出してください。

・材料としての保証

上記試験条件を満たし、JNLA 登録試験所による試験を行った結果、**「付着強さ(標準状態)」**がメーカー管理基準を満たせなかった場合は購入された NURUCON の返金を行います。必ず JNLA 登録試験所の成績書をご準備の上、弊社営業までご連絡ください。なお**施工結果に関する保証は一切行っておりません。**

4. 種類及び原料

4.1 主な原料

SDGsの取り組みとして、生コンクリートの製造・運搬後に発生するコンクリートスラッジ及び、砂を洗浄した時に発生する洗い砂スラッジを原料の一部に使用しております。主原料は弊社敷地より採取される砂になります。その他、色合いの安定化の為に水性塗料も含んでおりますので、わずかに塗料の匂いがします。

5. 本施工マニュアルの注意事項

5.1 NURUCON の種類に関して

業務用 NURUCON M(14kg)は、業務施工を行う場合や試験規格に対応できる商品が必要な場合にお使いください。業務施工マニュアルはこちらの NURUCON M を使用した場合の施工マニュアルになります。

一般向け NURUCON M(5kg)は、一般向け商品になります。

6. テスト施工に関して(必ず実施してください)

6.1 事前確認

NURUCON Mは2024年に9月に販売が開始された商品になります。現時点では物理的性能は、**JIS A 6909 7.10に準拠した「付着強度」のみ**確認を行っております。

付着強度以外の試験が必要な場合は、必ず試験所に試験依頼を行い、試験結果をご確認ください。

6.2 テスト施工品

テスト施工用をご希望の場合は、弊社ホームページのお問合せページよりご連絡ください。

小面積(30 cm角程度)を塗る事が出来る量をお送りします。<https://nurucon.jp/contact/>

6.2 テスト施工方法

本施工予定箇所の目立たない箇所を選定してください。一旦塗った箇所は、サンダーによる研磨やケレン棒にて物理的に剥がす以外方法がない為、**必ず目立たない箇所(汚れても良い箇所)を選定してください。**

(1)施工箇所の選定

下地の状態が変わる箇所、環境が変わる箇所、条件が変わる箇所にてテスト施工を行ってください。サンプル品は30 cm角程度施工できますので、10 cm角の大きさをテストを行う場合は、約9か所にてテスト施工が可能になります。マスキングテープで10 cm角を事前に作っておくと塗りやすくなります。

(2)乾燥

乾燥は**48時間以上**行ってください。なお、**最大強度に達するのは2週間程度**要します。

48時間以内に水がかかると硬化が停止し、場合により強度低下が起こる可能性があります。

NURUCON Mは水分蒸発により硬化が進むので、48時間は絶対に水がかからないように養生を行ってください。なお、下地の状態、施工環境、湿度・気温により硬化に必要な時間は変動します。

環境条件に合わせて乾燥時間は長くしてください。

(3)シーラー及びトップコート

水がかかる可能性がある箇所、高い耐久性能を要する箇所は、シーラーやトップコートの施工を行ってください。弊社では販売しておりませんので、市販品をご準備ください。相性問題がある可能性が考えられる為、シーラーやトップコート施工を予定している場合は必ずテスト施工を行ってください。シーラー及びトップコートはメーカー指定の乾燥時間をお守りください。トップコートは、NURUCON Mを塗ってから48時間乾燥後に塗ってください。(弊社WEBショップにて販売中のシーラーはローラータイプ用です)

(4)性能の確認

希望の性能を満たしているかテストを行い、**その結果を元に**本施工実施の可否を決定してください。

7. 施工の準備

7.1 施工時期および条件

| | | |
|--------|-----------------------|---|
| 施工推奨時期 | 春～秋 室温が 5℃を下回らない時期 | 冬季期間は可能な限り施工を行わないこと。行う場合は、エアコンなどで養生を行うこと。 施工後 48 時間は室温が 5℃以下にならないようにする事。 |
|--------|-----------------------|---|

- ・NURUCON M は絶対に凍らせないでください。一旦凍らせると、加温しても使用できません。
- ・48 時間以内に施工した室内の温度が氷点下になった場合、NURUCON M に凍害が発生する可能性があります。NURUCON M に凍害が起こった場合、極端な強度低下が起こり、剥離が発生します。
(施工初期の凍害。初期凍害)
- ・水がかかる箇所に施工を行った場合にて、トップコートを施工していない場合、NURUCON M の内部に入り込んだ水分が冬季期間に凍結膨張を起こし、剥離する可能性があります。(施工後の凍害)
水がかかる可能性がある箇所で、冬季期間に氷点下になる場合は、NURUCON M の内部に水分が入り込めないようにトップコートの施工を行ってください。

また、下地と NURUCON M との界面に水が入り込んで凍結した場合も剥離する可能性があります。
水がかかりやすい箇所はシーラーの施工も行ってください。

7.2 NURUCON M の使用量

| 製品 | 標準使用量 | | 備考 |
|--------------|-----------------------|----------------------|----------------------|
| NURUCON M | ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ | 0.8kg/m ² | 左記の量を 1～2回に分けて塗る事 |
| | 防火材料試験(不燃材) 現在申請中 | | |

7.3 施工箇所の下地素材に関して

NURUCON M はモルタルや漆喰と同じアルカリ性になる為、**モルタルや漆喰が塗れない箇所には使用できません。**それらの箇所に塗る場合は、「漆喰用シーラー」や「あく止め剤」等をご検討ください。
弊社では販売しておりませんので、市販品をご購入下さい。

(弊社 WEB ショップにて販売中のシーラーは NURUCON C または B 用になります)

7.4 下地の清掃に関して

塗り材の付着強度は、下地表層の影響を強く受けます。下地表層が汚れている場合は、必ず清掃を行ってください。脆弱になっている場合は、必ず補強を行ってください。

下地表層に汚れが残っている場合や脆弱になったままの状態でも NURUCON M を施工した場合、**すぐに剥離します**のでご注意ください。また、汚れた箇所に塗った場合、浮き上がった状態で固まる為、非常に危険です。**下地の清掃と下地の補修補強は非常に重要なので必ず実施してください。**

7.5 下地の調整に関して

下地に凹凸や穴がある場合は、パテやネットテープ等で塞いでください。NURUCON M は厚塗り出来ない為、**穴埋め等には使用できません。**

8. 施工

8.1 本施工の前に

本施工の前に必ず「テスト施工」を行い、性能の確認を実施してください。

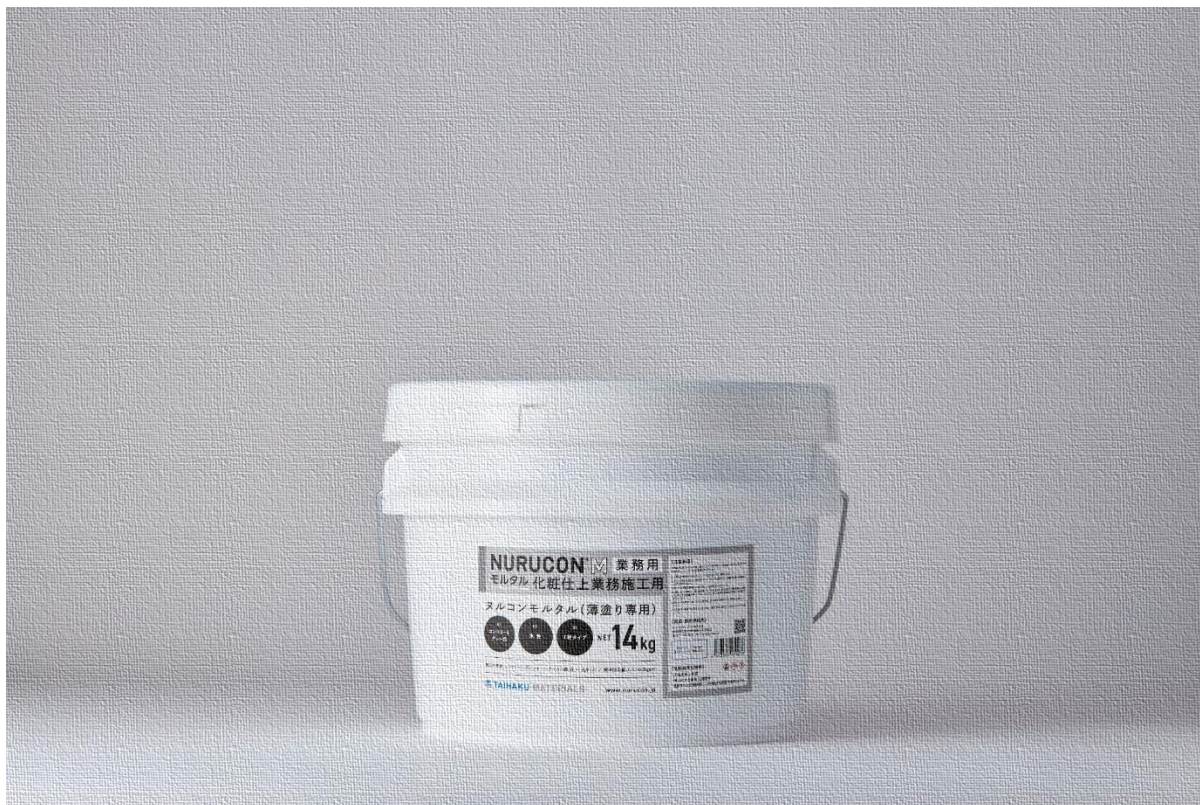
8.2 基本的な塗り方

- (1) 容器内をかき混ぜてください。容器下部に砂の塊が沈殿している可能性があります。底からしっかりかき混ぜてください。
- (2) コテ板に必要な分をのせ、コテで軽く練ります。
- (3) NURUCON M は薄く(数 mm 程度)伸ばすように塗るのが基本になります。厚塗りを行うとひび割れが起きますので注意してください。塗る箇所にコテを軽く押し付けるようにし、コテを横にすべらして薄く伸ばして塗っていきます。コテ塗りが初めての方は、2 回目の塗りで仕上げを行うイメージで 1 層目を塗ってください。
- (4) 2層塗る場合、1 層目の乾燥時間は 12 時間になります。
- (5) 塗り終わったら 48 時間以上乾燥時間を取ってください。

※ 施工中は換気を必ず実施してください。

※ 乾燥時も換気を実施してください。空気が滞留しやすい箇所は強制換気を行ってください。

※ 48 時間の乾燥時間は目安になります。気温、下地の状態、施工環境にあわせて乾燥時間は延長してください。



美しく安全なコンクリートで魅力的な空間を作ろう！
清潔で美しいコンクリートで快適な生活空間を手に入れよう！
コンクリートの美しさと機能性を引き出すプロの化粧仕上げを体験しよう！

本マニュアル記載の情報は2024年9月時点のものであり、随時内容が見直され修正される場合があります。定期的に弊社WEBサイトをご確認ください。また、本マニュアルは、作成時における入手可能な情報より作成しておりますが、必ずしも十分ではない可能性がございますので、取り扱いにはご注意ください。記載の一切のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、指定された用途以外には使用しないでください。

NURUCON®